

Fragments of the Mana Kawamura Flag(s)

2026年9月12日[土] - 10月25日[日]

宝塚市立文化芸術センター

2階メインギャラリー

開場時間 | 10:00 - 18:00 (入場は17:30まで) 休館日 | 月曜日 (祝日の場合は翌平日) 観覧料 | 無料

主催 | 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団 共催 | 株式会社メルコグループ 後援 | 宝塚市教育委員会

フ
ラ
グ
ス
メ
ン
ト
川
村
摩
那



Fragments of the Flag(s) Mana Kawamura

詩や散文など文学テキストの断片を、
絵画的なイメージと重ね合わせて描く新進作家、川村摩那。
川村は、兵庫県神戸市で生まれ育ち、早稲田大学を卒業後、
京都芸術大学大学院で美術教育を受けました。その後も京都を制作拠点とし、
自身で書いた詩や散文、日本の近代文学テキストの引用をもとに、
文章の中に立ち現れる情景や文字そのものをモチーフにした絵画を制作しています。

川村の描く作品には、描き重ねられた様々な言葉の形が滲んで崩れ、
他の図像と交わっていくことで、
言葉と図像が絡みあう重層的なイメージが浮かび上がります。
この川村の試みは、言葉の物質性とその可変性に着目しながら、
絵画を通して新たなものごとの語りを開くことを目指しているように見えます。

絵画を通して物語や意味を伝えることと、伝わらないことの狭間で
新しいものの語りを開く川村の作品にどうぞご注目ください。



川村 摩那 Mana Kawamura

1995年 兵庫県生まれ

2018年 早稲田大学文学部 日本語日本文学コース 卒業

2023年 京都芸術大学 修士課程芸術研究科 美術工芸領域 油画専攻 修了

主な展覧会：「群馬青年ビエンナーレ2025」群馬県立近代美術館（群馬）2025年

「ゴミと鉛筆とアート」UNKNOWN HARAJUKU（東京）2025年

「川村摩那・木津本麗 二人展：波とFrame」GALLERY ROOM・A（東京）2025年

「美術実践の日常風景」WHAT CAFE（東京）2024年

個展「そうして明るる日も明るる日も」haku kyoto（京都）2023年

受賞歴：2025年 群馬青年ビエンナーレ 大賞

パブリック・コレクション：群馬県立近代美術館



会期 | 2026年9月12日[土] - 10月25日[日]

開場時間 | 10:00 - 18:00 (入場は17:30まで)

休館日 | 月曜日 (祝日の場合は翌平日)

観覧料 | 無料

主催 | 宝塚市、公益財団法人宝塚市文化財団

共催 | 株式会社メルコグループ

後援 | 宝塚市教育委員会

宝塚市立文化芸術センター
2階メインギャラリー

〒665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町 7-64

表：川村摩那《フラグメント》(部分) 2026年

上：川村摩那《same space》2026年

中：川村摩那《春の日のどかな光が油のような海面に融け》2025年

下：川村摩那《ヒラヒラ、ヒラヒラと手招きする》2024年

フ
ラ
グ
メ
ン
ト
川
村
摩
那